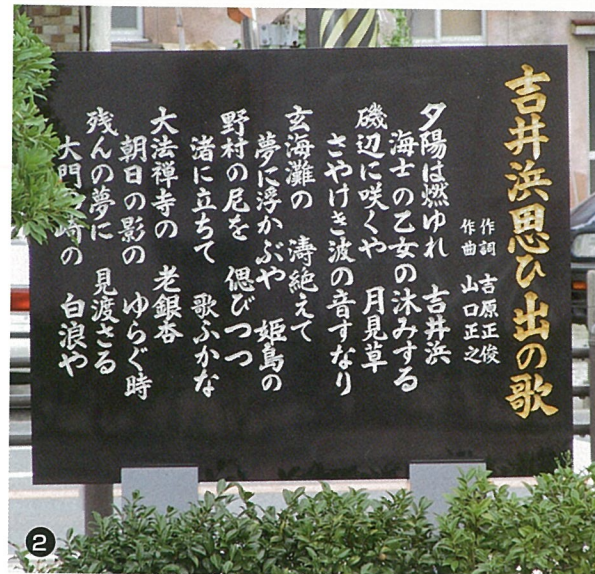
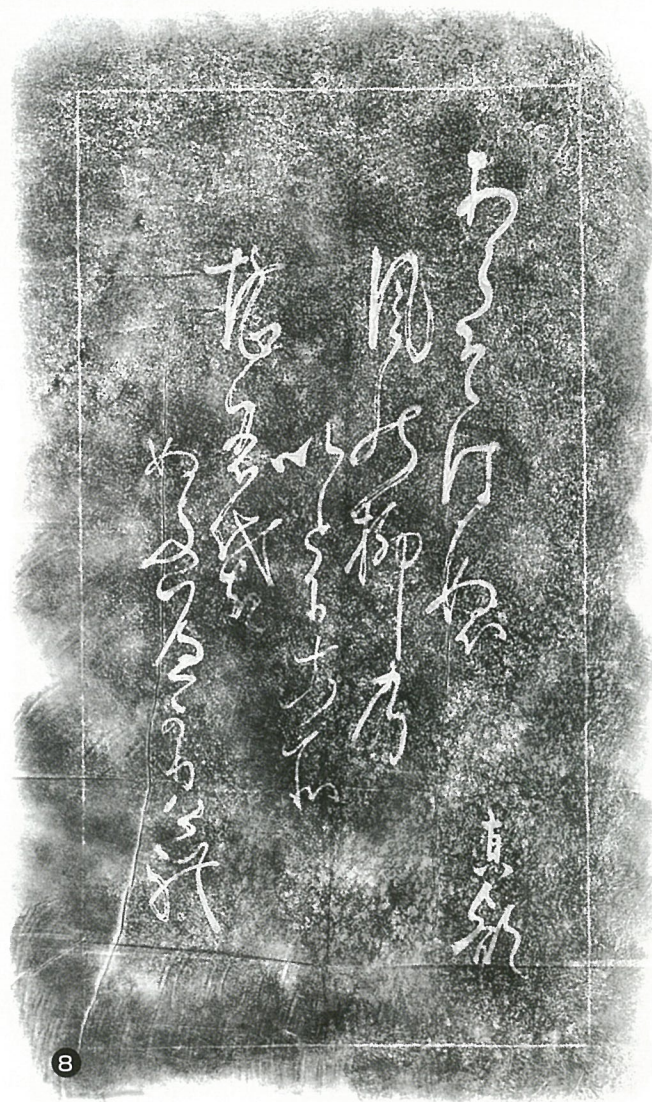
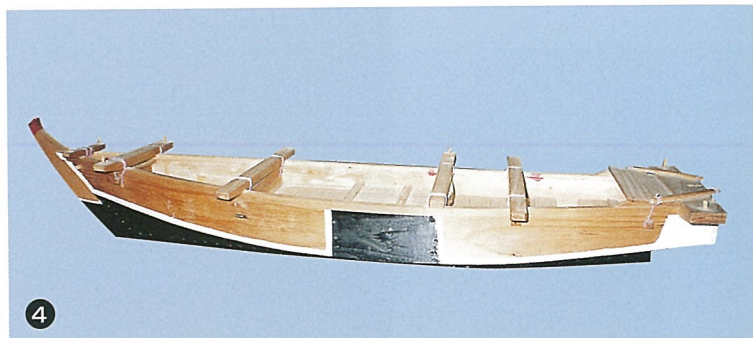
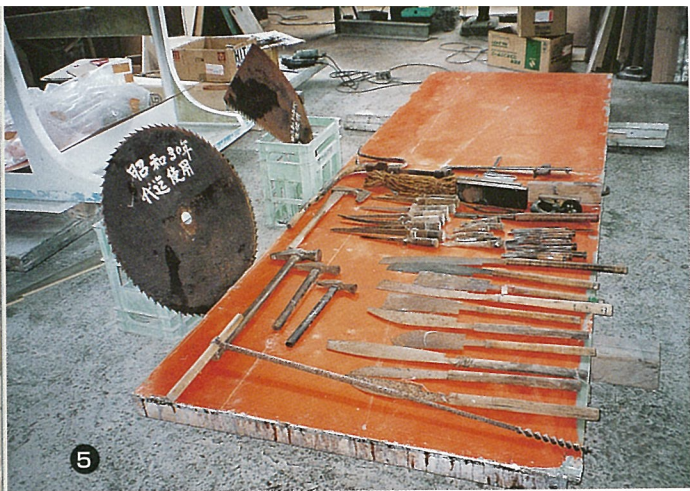




写真④ 福吉造船所製作木造船の縮尺模型（火山庄吉氏作）

写真⑤ 福吉造船所で使われていた工具（現在、唐津市呼子町の松永造船所蔵）。丸のこ、木びきのこなど「昭和30年代迄使用」と記されています。

写真⑥ 福吉製紙吉井講習所。紙すき技術は、江戸時代末期に吉井上の樋崎多吉郎氏によって伝えられ、大正時代に入って最盛期を迎えました。夏休みなどには、多くの女生徒が工場主催の講習会に参加しました。

写真⑦⑧ 鎮懐石八幡宮の狂歌碑とその拓本。碑文には「あらそわぬ風の柳のいとにこそ堪忍袋ぬふへかりけれ 真顔」とあります。これは大田南畝の門弟で鹿都部真顔の歌です。裏面には、江戸後期の郷土の歌人名が書かれています。（建立年代不明）

写真①② 「吉井浜思ひ出の歌」碑。大正12年（1923）夏、福井の大法寺に合宿していた旧制佐賀高等学校（現佐賀大学）水泳部の吉原氏、山口氏が吉井浜に思いを込めた部歌「吉井浜思ひ出の歌」を作詞作曲。地元で現在も歌い継がれています。写真①は、大法寺にある歌碑です。写真②は、福吉駅前に設置された歌碑。裏面には、福吉校区振興協議会による解説があります。

写真③ 明治44年（1911）に描かれた『曹洞宗仏国山大法禅寺境内の図』。「本堂七間六間」「禅堂六間半二間」など、各施設の大きさが書かれており、寺の概略を知ることができます。絵図左端には、『吉井浜思ひ出の歌』にある老銀杏も描かれています。

年表

- 一九六三（昭和三八） 鹿家分校が閉校になる
- 一九六四（昭和三九） 深江中学校が深江一三二一一番地へ移転し、二丈中学校になる
- 東京オリピックが開催される
- 一貴山・福吉両出張所を廃止する
- 一九六五（昭和四〇） 町制施行「二丈町」となる
- 一九六六（昭和四一） 町営有線放送事業を開始する
- 一九六七（昭和四二） 合併一〇周年記念として「二丈町誌」を発刊する
- 一九六八（昭和四三） 町立一貴山保育所ができる（平成二年に民営化される）
- 糸島郡二丈町土地改良区を設立する
- 一九六九（昭和四四） 町立深江保育所ができる
- 一九七〇（昭和四五） 糸島郡消防厚生施設組合が設立される
- 一九七一（昭和四六） 糸島消防署新庁舎が建設される
- 一九七二（昭和四七） 糸島消防署二丈分署を大入に開設する
- 「四七・七災害」と呼ばれる大水害が発生し、激甚災害の指定により災害救助法の適用を受ける
- 一九七三（昭和四八） 佐波分校が閉校となる
- 福岡地区水道企業団に加入する
- 一九七四（昭和四九） 町営有線放送を廃止する
- 町立福吉公民館が完成する
- 一九七七（昭和五二） 農家高齢者創作活動施設「二丈苑」が完成する
- 一九七八（昭和五三） 町立一貴山公民館が完成する
- 台風一八号で被害を受ける
- 一九七九（昭和五四） 町立中央（深江）公民館が完成する
- 一九八〇（昭和五五） 集中豪雨で国鉄筑肥線、国道が不通となる（被害総額一五億円）